

起因物、事故の型：荷姿の物 - 激突の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	14～15	物流倉庫内で玉掛け作業の後、高さ約70cm程の建材製品の上から降りようと、しゃがんだ状態で右足を床に着いた際に右足首を捻挫した。	30	80401	50～99
1	14～15	トレーラー上で、シートパイルを積み込んでいる時に、三段目に積んだ時ベタ角がずれてシートパイルがずれて倒れて来たので慌てて飛び下りた時、敷鉄板が有り、足、かかとを強打して腰も負傷した。	46	30199	—
1	19～20	工場内に於いて、金具の入っている箱を取る際右手に当たり、腫れて痛みが生じた。	25	10806	30～49
1	5～6	構内にて、荷物をベルトコンベアに載せる作業をしている最中に、鉄板のような重量物を置いた際に、荷物とベルトコンベアの間に右手中指を挟んでしまい、左手中指骨折を負った。	21	40301	300～499
1	21～22	荷卸先で荷卸し中、荷物上にあった養生用品を下に置いた際、荷物の上から降りるときに養生用品を置いた上に降りてしまい、左足を捻ってしまった。	43	40301	30～49
1	9～10	1箱18kg～20kg程の白菜が入ったダンボールを、外の野菜置場から台車を使い店内の冷蔵庫へ移す作業をしていたところ、ダンボールを持ち上げた際、ダンボールの角が腹部の左側に当たり、肋骨を骨折した。	60	80209	50～99
1	20～21	被災労働者が、店舗からテナントゴミ捨て場へゴミを捨てに行く際、フロアに置いてあった催し物用に搬入されていた鉄のコンテナに右大腿部を強打し被災した。	47	140201	10～29
1	17～	現場での仕事が終わり、事務所に戻り片付けをしていた際、材料を運ぼうとして持ち上げたが重く、手が滑って落とした拍子に後ろにあったダ	63	30106	10～

	18	ンプに右手が当たり負傷した。			29
2	9~10	共同販売部、倉庫内において約1m70cmの高さでのダンボール整理作業終了後、昇降用のロープにつかまり降りようとしたがロープが張っておらず、弛んでいたため、そのまま足を滑らし、左足から地面に着地した。	65	170209	10~29
2	15~16	スーパーマーケットへの配送営業中バックヤード棚に包装資材を設置作業中30cm程度の高さの踏台から飛び降りる際、足に異常を感じ、病院に診療のため行った。医師の判断で手術の必要性を納得し、時を待った。会社の自分の仕事には若干の痛さを覚えるが作業に気がつけた。	40	80109	1~9
2	10~11	道路路肩にて待機中、納入先（客先）に大型トレーラーが多く納入する時間帯なので客先の手前でシートをめくる為荷台で作業中スキットに躓き商品（コイル）に左膝が当たり5針縫った。	39	40301	1~9
2	17~18	1歳児の保育室トイレにて、こどもの衣類を水洗いしていた。洗い終えた衣類を個人用容器に入れようとした。個人用容器を左手で取った際、並んでいた隣の別の個人用容器が落下した。受け止めようと左手に容器を持ったまま、落下した容器を左肘で押さえた。その際、トイレの壁と個人用容器で左肘を強打し、激痛が起こった。しばらくすると、患部が腫脹してきた。	56	130201	10~29
2	14~15	パレットを積み上げている作業場でパレットの上の商品（鶏肉）を下へ降ろすため、パレットの上に上がり、5kg程の商品を持ったまま、高さ2m位あるパレットの上から飛び降りた。その時、かかとかから着地し、足に痛みを感じた。	24	10101	1~9
2	11~12	特別養護老人ホームの更衣室で清掃作業中に、床に置いてあった荷物（枕）をロッカー（高さ1.5m程度）の上に背伸びして上げようとしたところ、荷物の重さでよろめき、側面の壁にぶつかり、転倒し、壁にぶつかった際に腰を打った。大丈夫だと思って様子を見ていたが、痛みが増してきたため病院を受診したところ、骨折と診断された。	75	170209	10~29
		被災者はチーズの入ったトレーを10段積み、台車で運搬する際に、ケー			100

3	2~3	スのバランスが崩れそうになったため、ケースを支えようとして右手を打ちつけてしまい、小指を負傷した。	42	10101	~ 299
3	8~9	トラックの荷台で荷物を一番後ろからおろそうとしたとき、荷台前方へ動いてしまった荷物を取ろうとジャンプをして取ろうとしたところ、手前の荷物の角に肋骨をぶつけた。	42	40301	300 ~ 499
3	18~19	帰宅時、自社第1車庫にて、フレコンパックを整理していたときにフレコンパックから飛び出していた釘が左手に刺さった。	53	40301	50~ 99
3	18~19	サッシ配送用の荷馬に右膝を強打したが、その後も仕事を継続していたところ、後日に痛みが強くなった。	42	40301	30~ 49
3	18~19	客の配膳を下げて戻る途中、別の客の椅子の下にあった客の荷物につまづき、下げものを持ったまま前のめりに転び、レシャップの戸だなに顎を打ち、えびぞりになり、そのまま動くことができなくなった。	70	140209	30~ 49
3	10~11	空になったダンボールを解体する作業中に、ダンボールのビニールテープで封印してある面を開けるために、ビニールテープを外さず手の甲で強くたたきつけたとき、打ちどころが悪く、右手の甲の痛みを伴う腫れが出てしまった。	52	10805	10~ 29
3	14~15	原料冷蔵庫入口前にてサンテナを2山同時に片づけている時に、人を避けようとしてサンテナに躓き胸を強打した。	53	10101	50~ 99
3	16~17	リサイクル棟の瓦礫バツカン（コンテナ）内で、大型瓦礫をリフトで持ち上げバツカンに投入する為、バツカンに飛び降りた時、着地した際の衝撃で右足踵を剥離骨折した。	46	150101	30~ 49
3	9~10	倉庫内で小物部品の検品中、突然手足に力が入らなくなり気絶した。倒れた際にパレットの上のダンボール部に首、頭部をぶつけた。	43	170209	10~ 29
4	18~ 19	荷台で空パレットの整理をしている時に、パレット引っ掛け棒を使って移動しようとしたところ引っ掛け棒が外れて、その反動で体勢を崩し、空パレットに右ひざが激突した。	51	50101	1~9
	23~	事務所内工場内にて製品を梱包する際に、ビニールを被せようとして振			1000

4	24	り上げた際に、胸部を製品容器にぶつけ肋骨を骨折した。	54	11502	～ 9999
4	16～ 17	廃棄物の粗選別場で10tコンテナに積込作業を行っている時に、コンテナ上部の手動式飛散防止装置（コボレーン）を、トラックのリアバンパーに乗って開放しようとしていたところ、足元が不安定だったため、開いた反動で飛ばされ、左脇腹を強打した。	67	150102	1～9
4	11～ 12	圃場でじゃがいもを収穫し、トラックに積み込む作業中、コンテナを左足ひざの内側にぶつけて打撲した。	36	60101	10～ 29
5	6～7	荷卸先で大型低床平ボディ車の積荷（角パイプ）の荷卸し作業中、荷台に上がって積荷に掛けられた養生ビニールシートをはがすため、ブルーシートの上に右足を置いたところ右足が滑り、バランスを崩して転倒しそうになり、左膝部位を角パイプに強打した。	48	40301	50～ 99
5	9～ 10	飲料売場において作業中、飲料の補充作業を実施していた際、しゃがんで作業をしてから立ち上がったところ、右目を飲料の入った段ボールの角にぶつけて、右目に激痛が走った。	35	80209	50～ 99
5	12～ 13	工場内でパレットに入った鉄丸棒（約7.5kg）を取り出す時に足元が滑り、パレットの枠に当たり打撲した。	54	11301	1～9
5	8～9	搬入材料を足場越しに2階に上げていた。荷物を持って立ち上がった時に、足場に顔面をぶつけ、メガネを壊し、眼球と目の下を負傷した。	47	40301	10～ 29
5	16～ 17	作業が終わって事務所に戻るため通路から横の通路に入った時、通路においてあったダンボール（中身が入っている）に躓き、足を痛めてしまった。	49	80201	100 ～ 299
5	13～ 14	1階廃材積込場所でカゴ車にて廃材コンテナに廃材（ボード屑）を積み込み作業中、床と廃材コンテナとの段差が28cm程度あり、鋼製布板を2枚（W500+240）を平行に設置し、スロープを作成してカゴ台車で積み込んでいた時、W240の鋼製布板が外れ、そのはずみで右脛を打撲挫創した。	35	30201	30～ 49

5	11～ 12	豚肉の加工場内で、両手で原料の入っているタンクを引っ張っていたところ蓋が外れて、そのはずみで積んであったプラスチック製のカゴにぶつかり、腰と脇腹を強打した。当初は少しの痛みだったが、痛みが増し、立ち上がる時に激痛が生じた。	64	10101	30～ 49
6	15～ 16	産業廃棄物中間処理施設の木くず破砕機排出口で、破砕後の木くずを受け取るフレコンバッグを取り外し、木くず受けを他の作業員が木箱に変更しようとしている時に、木箱が脇にあることに気付かず振り向き、痛めていた肘が木箱に接触したものである。	51	150102	1～9
6	7～8	倉庫作業中、棚（アルミ）の下回り足元の周りにガラ袋等があり、材料片付けをされていて足元が滑りって転倒しそうになり、物に掴まろうとしたところ、棚にあった消火器の箱に手首をぶつけて骨折した。しばらくの間、怪我をした事を会社に言わず黙って仕事を休んでいて、社長に連絡が入ったのは2ヶ月後であった。	16	30199	1～9
6	10～ 11	製品の入った通い箱を2段ずつ重ねて運ぶ作業中に、台車より箱を持ち上げた際に、下段の下部に3段目の箱が固着している事に気づかずに運搬し、作業台の上に置こうとした時に、固着していた3段目の箱が天板と接触し、両手で持ち上げていた上部2段の箱が体に衝突した。	54	11402	50～ 99
6	10～ 11	作業中に2つの箱を運ぶ動作があるが、それを行う際に、2つ目の箱の下にもう1つ箱がくっ付いていたことに気づかず、机の上へのせようとした時に、その箱を机に当ててしまっ、その際に胸を上箱にぶつけて怪我をした。	54	170101	30～ 49
6	11～ 12	弊社工場内の棚に置いていた塗装部品箱の積み方が悪く、崩れそうになり、咄嗟に手を出したところ、棚に右手を強打した。	32	11305	10～ 29
6	15～ 16	工場顆粒包装課Cチーム具材ラインの段ボール手詰作業中に、応援で中箱折り作業を行い、中箱折り作業から、段ボール手詰作業へ戻る途中、足を滑らせたため身体が倒れないよう、保管中の段ボールの上に手をついた。	63	10109	100 ～ 299
		古紙のダンボールを大型のシュレッダーで裁断する作業を行っていた。			

7	11~12	パレットに積まれているダンボールを手作業でシュレッダーに投入する際、PPバンドを切り崩れてきたダンボールを避けた時にシュレッダーのテーブルに左大腿があたり打撲した。翌日になっても痛みがひかず早退し、整形外科医師より左大腿筋挫傷と診断される。	43	10609	100 ~ 299
7	14~15	冷凍庫の一番奥にある棚の商品を取ろうとしたが、棚の前に荷物が入った段ボールが置いてあり、重たくて動かせなかったため、段ボール越しに棚上の商品を取ろうとした。その時に足元が滑ってしまい、右胸下の肋骨を段ボールに打ち付けてしまった。数日痛みを我慢して働いていた。診察の結果、肋骨にヒビが入っていた。	56	80209	10~ 29
7	15~16	格納ラック間の通路内にて、パレット商品から商品を取るため、次の箱に差し掛かったところ、商品を取った右手が滑り、左手首に当たった。	43	50101	50~ 99
7	23~24	作業場の清掃中に足のバランスを失い、手にライスケース（ポリプロピレン製44cm×60cm×25cm、1つ約3キロ）を3つ持った状態によるけ、メタルラックに右手を強打し、右手中指第3関節に打撲・挫傷を負った。	46	80209	50~ 99
7	15~16	駐車場でのローラーの後片付け作業中、一斗缶の上でローラーを皮スキで塗料をしごく作業中にローラーがとれて、いきおいよく一斗缶の鋭利なところへ指があたり指をケガしてしまった。	41	30202	1~9
7	10~11	ハッチ2槽目を水揚中、モッコに入った冷凍鰹を船上クレーンで水揚げする際、安全な場所へ移動したが、その場所に積んでいたキハダマグロ（約30kg）4~5尾が1m位の高さから滑り落ちてきた。反対側へ逃げたら、水揚げしようとしていたモッコにぶつかった。その時、キハダマグロの尾の部分がモッコからはみ出していて、そこへ右脇腹をぶつけ負傷した。	36	50202	30~ 49
7	16~ 17	店舗内にて生ビール樽（15?）を180cmの高さの棚から取出し作業中の怪我。樽を一旦持ち上げ肩に乗せた際、樽の尖っている部分が首に食い込んで衝撃が走った様な痛みを襲われた。	40	80209	50~ 99
7	16~	敷地内で作業中に歩いて移動していたとき、敷地内に置いてあったコン	50	60101	1~9

	17	テナに誤ってぶつかって転倒した際に、床に胸を強打した。			
7	15～ 16	巻き取り解体作業場において、フォークリフト運転手Aと補助作業員Bが翌日の巻き取り解体作業の準備の為に巻き取りブロックをフォークリフトを使って中央列から後方へ移動中に（後へバックし、左端へ持って行く途中）止め木がはずれ、フォークリフトから巻き取りブロックがころがり落ちた。その際に前方左端に待機していたBに当たり、巻き取りブロックと安全ガードの間にはさまれ被災したとみられる。	66	10601	30～ 49
7	9～ 10	開店前の準備中、レジサッカー台横にあるドライアイス自動販売機において、バックヤードにある冷凍庫からドライアイスが入った発泡スチロールを販売機まで運び、ドライアイス自動販売機に補充する際、ドライアイスの重みにより手が滑り、発泡スチロールを持ったまま右手の甲を自販機にぶつけ、右手甲を骨折した。	58	80209	100 ～ 299
7	14～ 15	資材置場において、足場を組む資材の片付け整理をしていたとき、高さ約2mの資材の上に登り、下に置いてある鉄パイプ（長さ約3m、重さ約7kg～8kg）を、しゃがみこんで1本持ち上げようとしたときにバランスを崩し、体勢が悪いまま飛び降り、右足から着地したとき、地面が砂利のため右足が滑ってしまい、右肩から地面に強打し負傷した。	47	30209	10～ 29
7	3～4	積んである巻物（高さ1.2m程）から飛び降りたとき、足首を捻った。	30	10209	50～ 99
7	9～ 10	自社車庫内の大型ウイング車に、空ドラム缶を2段積みにしてあり、1段目と2段目の間にベニヤ板を挟んで置いてあったドラム缶を、フォークリフトで荷台後ろ側の2段目より降ろしていった。ベニヤ板を片付けながら、荷台前の最後のドラム缶を降ろし、ベニヤ板をどかさそうと後ずさりしたとき、ドラム缶とドラム缶の間に足が入ってしまい打撲した。	61	40301	30～ 49
7	16～ 17	後方に什器を取りに行こうと走っていたところ、白線より外に出ていたゴンドラ脚部分に躓き、膝を強打した。痛みがひかないため、そのまま病院へ行った。	55	80209	50～ 99
		会員制サロン内で、ディナーショーの接客が終わり片付け作業中、ワゴ			

7	19～ 20	ンへ重たい物（お皿や様々な器具）の入ったカゴを移す作業をしているときに、膝に何度かカゴをぶつけた。その後、宴会サービスから借りていたものを返す際、走って返しに行き、店舗に戻った時に痛みが出てきた。痛いまま勤務を継続し、退社後、自宅に着いてから立ち上がれず、右足が動かなくなった。	21	140101	500 ～ 999
7	14～ 15	客先工場で、鉄製の踏み台（長さ2m、重さ30kg）を2人で持ち上げて運んでいるとき、躓いて体勢が崩れ、持っていた踏み台がずれて、その踏み台の角で左膝の内側を強く打ち負傷した。	54	11301	50～ 99
9	15～ 16	売場でお買い上げ商品をスキャンしようとした際、台車の載せてあった炬燵（縦100cm×横100cm×高さ10cm、重さ10kg）がバランスを崩して落ちそうになった為、支えた時に炬燵に左膝をぶつけて皿にひびが入った。	52	80201	300 ～ 499
9	23～ 24	エリアにて、CMPに積まれた奥側の貨物を取ろうと、CMPの奥側の貨物を平らにならす際に、不安定な体制だったため、手前の貨物の角が、右胸に体重が掛かった状態で接触し、激痛がはしった。	52	50101	100 ～ 299
9	8～9	派遣先で、2階の接待部屋を出る際に、入室をする方とぶつかりそうになったため、避けたところ、段ボールにぶつかり、無理な体勢になってしまい、右側の股関節を痛めたものである。	22	140101	50～ 99
9	11～ 12	構内にて、トラックに荷物を積み込みシートを被せている時に、右足は後ろにあるステップにかけ、左足を降ろす時に近くに置いてある樹脂パレットに気付かず、左ふくらはぎをぶつけてしまった。	26	40301	50～ 99
9	16～ 17	工場内にて、トラックに製品を積み込み中、製品（側溝）の上で、足を踏み外し側溝の内側にはまった。	50	40301	10～ 29
9	1～2	宅急便の仕分けの構内で、持ち場から荷積み場までロールボックスを引っ張って行き、目的場所に到着する手前で、他方から来たロールボックスと腕が接触したものの。前方確認がそれぞれ不十分であったと思われます。	66	170101	500 ～ 999

9	23～ 24	ホール内で新台入替作業中に、取り外した遊技台を運ぶ際にインカムが椅子に引っかかり動けなくなったため、足で支えて左脛骨を骨折した。	40	140309	10～ 29
10	15～ 16	大型トラックにコンクリート製品を積み終わったので、荷物締めをしていた時、足が滑り積んでいたコンクリート製品に左手首をぶつけ、体重をかけたまま倒れた。	31	40301	1～9
10	9～ 10	店前の路上で駐車中、トラックの荷台で高積みの荷物を下ろそうと荷物を持ったまましゃがんだところ、脇に置いていた空番重に右目を強打した。	36	40301	10～ 29
10	11～ 12	被災者はカーペットの切り出し作業をしていた。注文を受けた数量をカットするため30m巻ロールカーペットを床に引き伸ばしていたが、9m位の所で重さでそれ以上引き伸ばせなくなった。ロール本体を回そうとカーペットの側面を通り、ロールに近づいている時につまずき、頭からロールカーペットに激突し頸髄を損傷した。	54	80109	50～ 99
10	8～9	食品売場で、加工商品の品出しの業務を行っている際、ダンボールへ躓いた関係で左下腿が置いてあった折り畳式コンテナの角に突き刺さってしまい、その結果、15針縫合する負傷をしてしまった。	45	80209	100 ～ 299
10	11～ 12	お客様の倉庫内で荷物を積み込んでいる最中に左足首を捻った。その後痛みはあったが、本人は働けると思い働いていたが徐々に痛みがひどくなり、足が腫れてきた。	54	40301	10～ 29
10	10～ 11	引越作業中、廃棄物の入ったごみ袋を両手で3袋（右2袋、左1袋）を持ち、階段を下りていたところ、右足で持っていたごみ袋の端を踏んでしまい階段を2・3段踏み外した。バランスを崩しながら着地したため、右足を捻ってしまい負傷したものである。	39	150103	1～9
10	12～ 13	派遣として業務に携わっていた。その日は、10kgほどの箱を運ぶ作業があり、数人で玄関から室内に移動する作業中、腰に少し痛みを感じたがそのまま続けていたところに、後方にあった商品のダンボールに気づかず、そのダンボールに腰をぶつけ、強い痛みを感じた。その後も痛みを我慢して仕事を続けていたが、治ると思っていた痛みはひどくなり、接	44	80209	—

		骨院に症状をみてもらったところ腰部の捻挫と診断された。			
10	13~ 14	1階バックルーム食品共通冷蔵庫の中で、コーヒー豆のストックを取りに行った際、冷蔵庫の中に置いてあった明太子を積んだ台車（少し傾いていた）にぶつかり、左足のふくらはぎ辺りを切った。小さな傷で少し血が滲んだ。3~4日後親指位の大きさに腫れ、38.5度熱が2日間あり、その後足がむくみはじめ手の平大に腫れ上がり、痛みがひどくなった。	53	80201	300 ~ 499
10	10~ 11	弊社2番倉庫内において材料の荷受を行っている際に、材料を置くためにダンボールを敷く事になり、不要ダンボールを持ち出すため、搬入済の荷物（ダンボール入り）の奥へ手をのばして取ろうとして、左側の肋骨がダンボールに押し当たったため、負傷した。	43	30301	100 ~ 299
10	16~ 17	廊下で探し物をした後、作業室に入ろうとして作業室手前にある台車に引っかかった。両手で板状の段ボールを持っていたため足元が見えなかった。咄嗟のことでその時の状況は覚えていない。右足をひねったような痛みがあったが我慢できる程度だったので、作業室に戻り10分程度作業を続けた。帰宅するため上履きのスニーカーを脱いだら違和感があり、右足甲が腫れていた。右足第五中足骨骨折と診断される。	48	130201	30~ 49
10	0~1	パン（コンテナ）振り分け時の事故。パンコンテナを所定の場所に置いてまた次のコンテナを取りに帰ろうと振り向いた時に、ヨコにコンテナが有り、コンテナの淵（1cm）部分が右目に当たり眼球（膜）を怪我した。振り向き様、丁度目の高さだったために回避できず怪我をした。	38	10109	100 ~ 299
10	14~ 15	包装工場にて荷積み作業中に、周りへの注意力が散漫になり、横で作業している人に接近しすぎたため、箱が左眼に当たり、強打。自らの不注意によるもので、当方の一方的な過失であるため、相手に対して損害賠償請求は発生しない。	38	170101	100 ~ 299
10	9~ 10	お客様の所で荷卸中、荷台の少し奥に荷物があったので軽くジャンプして荷物を取って着地した時に、左足ふくらはぎを負傷したものである。	45	40301	100 ~ 299

11	10～ 11	本社工場内でトイレから戻って歩いている時、通路の左側にある里芋が入っているコンテナに躓いて右側の桶に寄り掛かるようにぶつかり、胸の右側の肋骨を骨折した。	72	10109	30～ 49
11	17～ 18	バックヤードにあるプレハブ冷蔵庫内で、ネギの入ったケースを出そうとしたところ、冷蔵庫内の壁にケースをぶつけてしまい、衝撃でケースの角が、右側肋骨に当たってしまった。数日、様子を見たが、痛みが取れず受診した。	48	140201	10～ 29
11	15～ 16	立体駐車場2・3号機管理ボックスで待機中、利用者が来たため外に出る際出入口扉の沓摺と床の段差に躓き転倒し受傷した。	38	150102	—
11	12～ 13	厨房から洗浄場に移動する際プラスチック製の食材ボックスを扉にぶつけてしまい、衝撃で自分の胸を強打してしまい負傷した。物を運ぶ際前方が見えなかったのが原因で事故になったと思われる。	61	80209	10～ 29
11	11～ 12	事務所出入口で靴を履く際、普段は無い台車と荷物が置いてありスペースが狭くなっていたため、バランスを崩し、左側に置いてあった荷物に左足小指をぶつけ骨折した。	61	80209	50～ 99
11	17～ 18	事業所2階の作業場の教材ピックアップ1エリアでダンボールに貼付されているラベルのバーコードをバーコードリーダーで読み込ませようと振り向いた時に、フラップの角で左眼を打った。当時は眼球の痛みが続いたものの、出血や充血等の異常がなかったことで定時に退社したが、数日後に視力の低下に気が付き、後日に近隣の眼科を受診したところ眼底出血していることが発覚し、治療のための設備が整った病院を紹介され、受診した。	46	120109	30～ 49
11	10～ 11	工場パス冷蔵庫からステンレス製の番重（ゼラチン）を運搬中、ブラスト冷蔵庫扉付近が濡れた状態で足元が滑り体をひねった、その際付近のクレート（つゆ等保管）に右手をぶつけた。手の痛みがとれない為、病院へ行き右脇腹2箇所骨折が判明した。	55	80209	100 ～ 299
		自社3Fの製作部前の作業通路にて、一人で宝石ディスプレイ用台座の再利用の仕分けを行っている際、その台座が入った重さ9～10kgのダンボー			

11	10~ 11	ルの中から台座を取り出そうとした時に、ダンボールとの距離感が狂いバランスを崩し、ゴムスリッパを履いていた足が前に滑って右足指をダンボールにぶつけ負傷し痛くなり、すぐに帰宅し、自宅近くの病院で手当てを受けた。	40	11709	10~ 29
11	7~8	支店ホームにて、配達荷物の積み込み時、空のパレティーナを台車から車両に積み込む際、手袋を着用していなかった為、パレティーナの突起物に左手甲をぶつけた。	29	40301	50~ 99
12	14~15	当社資材置場にて、4tユニック車を使い足場資材の整頓中、足場材束（1束の高さ1.5m程）に乗って2段目部分を下に降ろそうと玉掛ワイヤーを掛けようとしたところ、1段目足場材束の縁に足を滑らせ地面に飛び下りたところ左足を複雑骨折した。	54	30209	—
12	11~12	倉庫内にてピッキング作業中、商品を膝を使って担ぎ上げようとしたところ、右膝の上部に商品が強く接触し打撲した。	38	50101	100 ~ 299
12	18~19	事業所1階にて、売上金バッグとカセットを積載したUT台車を精査端末間通路を引いて運搬していた所、左手側にあった紙幣計算機の角にぶつけて裂傷した。	53	170201	300 ~ 499
12	11~12	売場でダンボール2箱を運ぼうとした際、箱に足が当たってつまずき転倒した。その際に左手で体を支えたところ、左手首を骨折した。	53	80201	300 ~ 499
12	12~13	クリーニング工場の作業場で、カゴに入った衣類を両手でかかえ運んでいる時、床の上に置いてあったコンテナ（四角のカゴ）に気づかず、右足のすね部分をぶつけ出血した。	57	11703	1~9
12	7~8	荷物（120cm×60cm×50cm、重さ約20kg）をワンボックス車で受け取りに行き、リアゲートから荷物を押し、被災者が荷台前方へ引き込む際、連携がうまくとれず手が荷物から抜けてしまい、その勢いで後部座席の鉄パイプ部分へ右手側面を強打し、負傷したものである。	33	11709	50~ 99

12	12	荷物仕分け場で、ベルトコンベアとベルトコンベアの間のローラー上に荷物があったため、右手で押し出そうとして右指を突いた。	22	40301	300 ~ 499
----	----	---	----	-------	-----------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html